



私たちが取り組む道普請は、人が歩き、馬や牛が行き交っていた時代の主要街道（会津銀山街道と旧越後街道）の峠道を対象として、自然に寄り添った工法「近自然工法」で整備を行っています。

「普請」（結ともいう）は、町村や地区全体にとってプラスになることをみんなの力を合わせて行うことです。今日でも青年団の「むら仕事」や町内会の「側溝の清掃」などが行われています。

福島県では、車の通行が不能となっている県道会津若松三島線、県道小林会津宮下停車場上線（会津銀山街道の銀山峠、美女峠、吉尾峠）を歩く県道として、整備・利活用し、地域の活性化につなげるための取り組みを行っています。今年度も道普請を実施して街道の整備を行うとともに検討会を開催し、峠道を活用した地域づくり活動についで、地域の皆様と話し合いを行いました。

### 歩く県道とは



- 1: 憩いの場のピフォー、アフター。  
大きなブナ林と広いベンチでのびのびと開放的な気持ちになります。
- 2: 丸太杭や釘を打ったり、枝を編んだり、たくさんの作業を同時に行うので、アドバイザーの田賀先生は大忙しでした。
- 3: 完成したベンチで休む参加者。  
座るだけなら、一つに6~8名は可能？
- 4: 板橋を作った班で記念写真。  
笑顔とガッツポーズがステキです！

角材や板材、丸太など、様々な木材を用い、大きなベンチを二つと板橋、粗朶柵が完成しました。ベンチに寝そべってブナ林を眺めたり、クックセットを持てば、昼食を楽しむことができます。大自然の中だからこそ、人の手で作られたものがあると安心して休むことができます。

今回のベンチづくりには、福島県主催の「奥会津インフラモニターツアー」（福島県内から10名）からの参加もあり、総勢36名が集いました。道中、地元の人からレクチャーを受けるなど、交流を深めました。

美女峠の中間地点「餅ヶ沢」には、かつて「峠の茶屋」がありました。沢の水で煎れたお茶やあんこ餅、焼き鳥が振る舞われたそうです。現在はブナ林が気持ち良く、憩うのに最適です。そんな魅力的な場所、歩き疲れた体をリフレッシュできるようにと、ベンチをつくりました。

### 美女峠、ブナ林に 憩いのベンチづくり



## 銀山峠、急坂に丸太階段



「銀山峠を復活させる会」で開催している「銀山峠歩こう会」には毎年、百名程度の参加があります。中には高齢の方もおり、難所の急坂には悩まされていると伺っていました。

今年度、急坂への丸太階段設置に取り組み、22名の参加をいただきました。作業は急斜面の整地からはじめ、丸太を用いて階段の設置を行いました。なるべく細かく段を設け、歩幅が狭いお子さんや高齢の方でも軽快に歩けるように配慮しました。合わせて、行き止まり箇所には注意喚起の丸太列柱を立て、より安全な道となりました。

「丸太杭をたくさん打ち込むのが大変だった。」と語るのは「銀山峠を復活させる会」会長の佐藤長八さん。次年度の「銀山峠歩こう会」で参加者の皆さんと一緒に歩くことを楽しみにされていました。

- 1: 施工前の様子。道であることもわからない急斜面で、ロープなど、サポートするものもありませんでした。
- 2: 足元を確認しながら、設置箇所の整地を行いました。
- 3: 施工後の様子。とても立派な階段でより道らしくなりました。注意喚起の列柱も同じ丸太で作られていてスマート！



## 吉尾峠、川張沢に丸太橋



吉尾峠は、沢歩きが楽しめる道です。小さな沢がいくつもあり、道を横断する沢への架橋やぬかみ改善をしたいと要望をいただいております。

今年度は、川張沢へ丸太橋を架ける取り組みを行い、36名の参加をいただきました。作業は、木を切り出して資材を調達することからはじめ、沢の護岸と丸太橋の設置、周辺の刈り払い等を行いました。丸太橋には管理路を設け、メンテナンスもできるように工夫しました。

「切ったばかりの木はとても重く、運ぶにはテコの原理を使う。」と語る「布沢地区」の刈屋晃吉さんは木を運ぶ道具「鳶口」を使って、簡単に動かします。このように、道普請では地域に伝わる技術も活かして作業を行っています。DIYなど、手づくりすることに興味のある方必見です！

- 1: 施工前の様子。沢を渡れるように丸太が設置してありました。
- 2: 沢の護岸のため、法面の整形を行っている様子。護岸が大きな橋の基礎にもなるので丁寧に作業を行いました。
- 3: 施工後の様子。丸太橋は歩きやすいように路面の木の組み合わせにこだわりました。丸太一本でも、とても重量があるので、力を合わせて運びました。

## 会津銀山街道の魅力 とうげのちやや

かつて峠には旅人の憩う茶屋がありました。イベント時に案内人がソロキャンプセットを携え、山の上でスペシャルティコーヒーや会津の銘菓を振る舞い、当時に思いを馳せます。「柔軟な発想で、楽しみながら地域文化の継承を考えていければ・・・」と語るのは美女峠案内人の菅家壽一さん。お子さん向けにカフェラテなどもご用意。至福の一杯はいかが？！

**とうげのちやや**

本日の試飲

1. 「ハンドドリップコーヒー」  
【試飲】 (会津産珈琲)  
※お土産200円以上で、お土産500円以上で無料です。
2. 「煎茶」  
【会津産煎茶】  
※お土産200円以上で、お土産500円以上で無料です。

茶のおとも

※木炭 (かてのみん)  
※お土産 (会津産)  
※お土産 (会津産)

### ご意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp  
TEL : 0242-29-5455 / FAX : 0242-29-5459

福島県南会津建設事務所企画調査課

TEL : 0241-62-5322  
FAX : 0241-62-5274



令和2年度  
電源立地地域  
交付金事業